

令和6年度 中学校英語教育推進リーダー研修 実施要項

1 目的 「英語教員の新たな学びの姿」の実現に向けて、授業づくりのモデルとして招聘した中学校英語教員とともに、短期・中期・長期の授業づくりのビジョンを構想しながら協働的に学ぶことを通して、これからの英語教育を推進していくリーダーとしての資質の向上を図る。

2 対象 中学校、義務教育学校（後期課程）、府立支援学校中学部

募集人数 40名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	5月30日(木) 14:00～17:00	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動中心とした授業づくり1— 〔講義・協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校、義務教育学校 教諭等
2	※別途連絡	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動を中心とした授業づくり2— 〔協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校及び義務教育学校 教諭等
3	※別途連絡	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動を中心とした授業づくり3— 〔協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校及び義務教育学校 教諭等
4	※別途連絡	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動を中心とした授業づくり4— 〔協議・演習〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校及び義務教育学校 教諭等
5	※別途連絡	年間を通した授業実践の検証 〔実践発表〕	大阪府教育センター 指導主事等 市町村立中学校及び義務教育学校 教諭等

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。

6 担当室 小中学校教育推進室

個別募集

1 目的

「英語教員の新たな学びの姿」の実現に向けて、授業づくりのモデルとして招聘した中学校英語教員とともに、短期・中期・長期の授業づくりのビジョンを構想しながら協働的に学ぶことを通して、これからの英語教育を推進していくリーダーとしての資質の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期										○	○	○			
第2期										○	○	○			
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動中心とした授業づくり1ー	これまでの実践を振り返りながら、短期・中期・長期の展望を考えるとともに、年間の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの授業実践を振り返りながら、対話を通して、これから探究していく目標と探究課題を設定する。 講義・協議・演習を通して、「授業設計」としての学習指導案の在り方を学ぶ。 	事前課題 事前アンケート及び直近で実践した自身の学習指導案を提出する <u>事前アンケート</u> 準備物 自身が研修に必要なだと考える資料等一式
2	英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究 一言語活動中心とした授業づくり2ー	グループでの対話を通して現時点での実践と成果や課題を明らかにしながら、自己調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自身の目標を踏まえながら、明らかになった課題について、演習を通して実践的に改善点を考える。 作成した学習指導案について、対話を通してブラッシュアップする。 校内や域内の教員と協働的に取り組んだ実践について協議する。 	準備物 自身が研修に必要なだと考える資料等一式

3	<p>英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究</p> <p>一言語活動中心とした授業づくり3ー</p>	<p>グループでの対話を通して現時点での実践と成果や課題を明らかにしながら、自己調整を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の目標を踏まえながら、明らかになった課題について、演習を通して実践的に改善点を考える。 ・作成した学習指導案について、対話を通して、ブラッシュアップする。 ・校内や域内の教員と協働的に取り組んだ実践について協議する。 	<p>準備物</p> <p>自身が研修に必要なだと考える資料等一式</p>
4	<p>英語教員自身の「学びの転換」と「新たな学びの姿」の実現に向けた探究</p> <p>一言語活動中心とした授業づくり4ー</p>	<p>グループでの対話を通して現時点での実践と成果や課題を明らかにしながら、自己調整を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の目標を踏まえながら、明らかになった課題について、演習を通して実践的に改善点を考える。 ・作成した学習指導案について、対話を通して、ブラッシュアップする。 ・校内や域内の教員と協働的に取り組んだ実践について協議する。 	<p>準備物</p> <p>自身が研修に必要なだと考える資料等一式</p>
5	<p>年間を通した授業実践の検証</p>	<p>今年度の成果と課題、今後の展望を発表し、次年度に向けての改善点を考える。</p>	<p>自身の授業や校内、域内の教員と協働的に実践した授業について発表した内容を踏まえたグループディスカッション等を通して成果や課題を振り返り、次年度の授業づくりの展望を共有する。</p>	<p>事前課題</p> <p>自身が発表する資料</p> <p>準備物</p> <p>自身が発表に必要なだと考える資料等一式</p>